学校法人会計 C2 から D2 へのデータ変換

有限会社シンシステムデザイン

このデータ変換を行うためには次のソフトの更新日を確認してください。 D2 ソフトの最新更新日は 2015 年 6 月 3 日以降 C2 ソフトの最新更新日は 2015 年 6 月 3 日以降

1. 学校法人会計 C2 ソフトの補助作業メニューから左のボタンをクリックしてください。

学校会計D2変換CSV出力

2. 次の画面で、CSV 出力をクリックしてください。

👯 Cto D		
	Dソフトへの変換用にCOSV出力	

- 3. ソフトを終了して、「学校法人会計 C2」フォルダを開いてください。(どこにあるかわからない場合は、ショートカットの上で右クリックをしてプロパティで確認してください。)
- 4. 「学校法人会計 C2」フォルダの中にある「Conv」フォルダをコピーして学校法人会計 D2 の フォルダの中に貼付けます。
- 5. 学校法人会計 D2 のソフトを立ち上げます。

あらかじめ部門登録や勘定科目設定を行ってから以下の操作を行います。

6. 補助作業メニューに入って、次のボタンをクリックしてください。



7. "旧データの CSV 読込"のボタンを押すと、次のような画面になります。

<u>e</u> 0	onvert												
	旧データのCSV取込 ○ 繰越金・前年実績 C 科目の学習箱家 C 伝票 C 予算 C 描要名の学習箱 C 前年度予算のみ C 科目の学習箱 C 離形 Cデータからの変換												
新旧	コード連絡	(BS/PL) 新旧コー	-ド連結(CF) 補助精	科目連	結白	邵門 連	結						
I	3勘定和	*日				[科E	名複写				 7	听勘定	科目
	code	科目名		FlgA	FlgB	FlgC	Ncode	N科目名	NFlgA	NFIgB NFIgC	6	:ode	科目名
	1000	0 【資産の部】		9	1	0						10000	【資産の部】
	1100	0 固定資産		3	1	0						11000	固定資産
	1101	0 有形固定	資産	2	1	0						11010	有形固定資産
	1102	0 ±	地	0	1	0				22		11020	土地
	1103	0 建	物	0	1	0				22		11030	建物
	1104	0 (建物洞	(価償却累計額)	0	1	0						11031	(建物減価償却累
	1105	0 建物付	禹設備	0	1	0				22		11050	建物付属設備

8. C2 と D2 の科目を連結させます。

左の旧勘定科目の FlgA=0の科目にカーソルを合わせておいて、右の新勘定科目の連結させたい FlgA=0の科目をダブルクリックします。旧勘定科目の右列に新勘定科目が入ります。左の旧勘定科目のカーソルポインタは自動的に次の FlgA=0の科目に移動しますので、右の新勘定科目をダブルクリックしていってください。

*/11																
IB	勘定科目	3		料目	名神	(写					*	「勘定	料目			
	code	料目名	FlgA	FlgB	FlgC	Ncode	N科目名	NFlgA	NFIgB	NFlgC	0	ode	科目名	FlgA	FlgB	FlgC
	10000	【資産の部】	9	1	0						1	10000	【資産の部】	9	1	0
	11000	固定資産	3	1	0						1	1000	固定資産	3	1	0
	11100	有形固定資産	2	1	0						1	1010	有形固定資産	2	1	0
	11110	土 地	0	1	0	11020	土地	0	1	0	1	1020	土地	0	1	0
	11120	建物	0	1	0	11030	建物	0	1	0	1	1030	建物	0	1	0
	11121	(建物減価償却累計額)	0	1	0	11031	(建物減価償却累計額)	0	1	0	1	1031	(建物減価償却累計額)	0	1	0
	11130	建物付属設備	0	1	0	11050	建物付属設備	0	1	0	1	1050	建物付属設備	0	1	0
	11131	(建物付属設備減価償却累	0	1	0	11051	(建物付属設備減価償却	0	1	0	1	1051	(建物付属設備減価償却累計額)	0	1	0
	11140	構築物	0	1	0	11070	構築物	0	1	0	1	1070	構築物	0	1	0
	11141	(構築物減価償却累計額)	0	1	0						1	1071	(構築物減価償却累計額)	0	1	0
	11150	教育用機器備品	0	1	0						1	1090	教育研究用機器備品	0	1	0
			_													

9. CF (資金収支科目)、補助科目、部門も同様にしてください。

新旧コード連結(BS/PL)	新旧コード連結(CF)	補助科目連結	部門連結	

10. 連結完了しましたら、下記より必要なデータの読み込みを行ってください。 この処理は元のデータを削除して読み込みますので注意してください。

 ○ 繰越金·前年実績 ○ 予算 	○ 科目の学習箱R ○ 摘要名の学習箱	○ 伝票	Cデータからの変換
○ 科目の学習箱	○ 雛形		

☆ 伝票の読込をした場合

D2 ソフトで仕訳入力の補助作業に入り、伝票番号を全体の連番にいったん並び替えてくだ さい。その後、部門別で運用される場合は、部門別を選択して再度並び替えを行ってくだ さい。